



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月30日

上場取引所 名

上場会社名 東海エレクトロニクス株式会社

コード番号 8071 URL <http://www.tokai-ele.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大倉 偉作

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長

(氏名) 笹川 剛

TEL 052-261-3211

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日

平成24年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	19,865	14.1	406	13.1	402	18.6	△81	—
24年3月期第2四半期	17,412	△1.0	359	△18.4	339	△23.5	179	△33.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 △195百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 42百万円 (△63.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	△7.64	—
24年3月期第2四半期	16.72	16.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	18,133	9,583	52.7
24年3月期	17,694	9,857	55.6

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 9,548百万円 24年3月期 9,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
25年3月期	—	8.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	2.8	775	1.8	780	2.0	135	△68.6	12.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
- ④ 修正再表示 ： 無

注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。
詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	11,801,316 株	24年3月期	11,801,316 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	1,074,924 株	24年3月期	1,077,162 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	10,724,047 株	24年3月期2Q	10,708,550 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	9
(5) セグメント情報等.....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景に景気は緩やかに持ち直しつつあるものの、長期化する円高や欧州の債務危機問題に加え、中国経済の成長鈍化等の影響により、景気を下押しするリスクが存在し、対外経済環境を巡る不確実性が高い状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは、2011年度を初年度とする中期経営計画(Business Revolution 2013 : BR13)の2年目を迎え、海外事業の拡大に向け、平成24年8月 アメリカに2番目の拠点としてデトロイトオフィスを開設しました。同オフィス開設により、北米地域における営業効率の向上、お客様の現地研究・開発拠点へのデザイン・イン活動及び情報収集活動並びに新規顧客開拓活動の強化を推進し、中華圏、東南アジアに加え、米国においても営業拠点網の拡充を進め、自動車関連を中心としたビジネスの拡大を図り、「お客様と共に歩むエレクトロニクスの技術商社」として、益々グローバル化が進む事業環境の中で、付加価値の高い提案営業を積極的に展開してまいります。

当社グループの売上高は、F A・工作機械分野については、昨年度後半より中国の設備投資減少の影響もあり引続き需要が伸び悩んでおりますが、自動車分野、情報通信分野におきましては堅調に推移いたしました。特に自動車分野においては、昨年末に復活したエコカー補助金などの追い風を受けた自動車生産の増加に加え、お客様によるB C P対応による在庫積上げなどにより国内外ともに業績は堅調に推移いたしました。

また、当第2四半期連結累計期間におきまして、従業員の福利厚生の一環として加入しておりました総合設立型の厚生年金基金「ナオリ厚生年金基金」より、将来的な運用環境等を勘案し財務面に与える影響を軽減すべく、平成24年10月15日付けにて脱退いたしました。この脱退に伴い発生した厚生年金基金脱退一時金4億8千5百万円を特別損失として計上いたしました。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は198億6千5百万円（前年同期比14.1%増）となりました。また、売上増加により利益面では営業利益4億6百万円（前年同期比13.1%増）、経常利益4億2百万円（前年同期比18.6%増）となりましたが、厚生年金基金脱退に伴う特別損失の計上などにより四半期純損失8千1百万円（前年同期は1億7千9百万円の四半期純利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債・純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は181億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億3千8百万円の増加となりました。主な要因は、現金及び預金が1億3千8百万円、たな卸資産が1億2千2百万円、流動資産のその他に含まれている繰延税金資産が1億9千6百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は85億4千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億1千2百万円の増加となりました。主な要因は、厚生年金基金脱退一時金の計上等により流動負債のその他が4億9千5百万円増加したことに加え、未払法人税等が1億5千3百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は95億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億7千3百万円の減少となりました。これは四半期純損失で8千1百万円の計上があったことに加え、配当金の支払8千5百万円、為替換算調整勘定が7千4百万円、その他有価証券評価差額金が3千9百万円減少したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1億3千8百万円増加し、11億1千9百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、減少要因として、税金等調整前四半期純損失9千7百万円の計上に加え、たな卸資産の増加1億6千2百万円などがありましたが、非現金支出項目の減価償却費7千1百万円、厚生年金基金脱退一時金4億8千5百万円の調整などによる増加要因があり、取得した資金は3億1千7百万円(前年同四半期は1千9百万円の取得)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得 3 千万円、無形固定資産の取得 2 千 4 百万円などの支出があり、6 千 7 百万円の支出(前年同四半期は 4 千 3 百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額などにより、8 千 6 百万円の支出(前年同四半期は 8 千 5 百万円の支出)となりました。

(3)連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月25日公表の通期の業績予想に変更はありません。
今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	980,442	1,119,355
受取手形及び売掛金	9,635,291	9,608,654
たな卸資産	2,701,524	2,824,515
その他	189,255	392,207
貸倒引当金	△289	△284
流動資産合計	13,506,225	13,944,449
固定資産		
有形固定資産		
土地	2,039,729	2,039,729
その他(純額)	1,181,047	1,153,702
有形固定資産合計	3,220,777	3,193,432
無形固定資産	96,795	179,573
投資その他の資産		
投資有価証券	450,124	387,249
その他	420,529	428,666
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	870,652	815,915
固定資産合計	4,188,225	4,188,921
資産合計	17,694,451	18,133,370
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,819,130	6,858,603
未払法人税等	38,208	191,529
賞与引当金	160,203	172,601
役員賞与引当金	56,000	46,260
その他	328,456	823,480
流動負債合計	7,401,998	8,092,474
固定負債		
退職給付引当金	361,733	376,126
その他	73,547	81,251
固定負債合計	435,281	457,377
負債合計	7,837,279	8,549,852

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,075,396	3,075,396
資本剰余金	2,511,009	2,511,009
利益剰余金	5,803,598	5,635,503
自己株式	△423,988	△423,101
株主資本合計	10,966,015	10,798,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,831	66,628
土地再評価差額金	△757,663	△757,663
為替換算調整勘定	△484,612	△558,921
その他の包括利益累計額合計	△1,136,444	△1,249,956
新株予約権	27,600	34,668
純資産合計	9,857,171	9,583,518
負債純資産合計	17,694,451	18,133,370

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	17,412,556	19,865,031
売上原価	15,344,417	17,640,791
売上総利益	2,068,138	2,224,240
販売費及び一般管理費	1,708,623	1,817,626
営業利益	359,515	406,613
営業外収益		
受取利息	587	304
受取配当金	7,741	5,227
仕入割引	8,761	6,218
その他	4,195	3,310
営業外収益合計	21,286	15,061
営業外費用		
支払利息	1,411	1,433
売上債権売却損	1,150	967
為替差損	38,051	16,613
その他	621	3
営業外費用合計	41,235	19,018
経常利益	339,566	402,656
特別利益		
固定資産売却益	603	—
投資有価証券売却益	12,831	—
移転補償金	—	1,230
特別利益合計	13,435	1,230
特別損失		
投資有価証券評価損	—	16,613
厚生年金基金脱退一時金	—	485,210
固定資産除却損	4,553	—
特別損失合計	4,553	501,824
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	348,448	△97,937
法人税、住民税及び事業税	157,040	184,033
法人税等調整額	12,346	△200,074
法人税等合計	169,387	△16,041
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	179,060	△81,895
四半期純利益又は四半期純損失(△)	179,060	△81,895

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	179,060	△81,895
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,093	△39,203
為替換算調整勘定	△95,382	△74,309
その他の包括利益合計	△136,475	△113,512
四半期包括利益	42,585	△195,407
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	42,585	△195,407
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	348,448	△97,937
減価償却費	67,417	71,742
投資有価証券評価損	—	16,613
厚生年金基金脱退一時金	—	485,210
移転補償金	—	△1,230
受取利息及び受取配当金	△17,090	△11,750
支払利息	1,411	1,433
売上債権の増減額(△は増加)	79,847	△53,305
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,110	△162,236
仕入債務の増減額(△は減少)	△53,757	109,101
その他	9,807	△25,473
小計	392,973	332,167
利息及び配当金の受取額	17,090	11,750
利息の支払額	△1,411	△1,433
法人税等の支払額	△389,476	△24,738
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,176	317,745
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△29,628	△30,424
有形固定資産の売却による収入	913	—
無形固定資産の取得による支出	△18,051	△24,406
投資有価証券の取得による支出	△3,853	△3,801
投資有価証券の売却による収入	64,692	—
その他	29,474	△8,629
投資活動によるキャッシュ・フロー	43,546	△67,261
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△141	△294
ストックオプションの行使による収入	31	3
配当金の支払額	△85,453	△85,711
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,563	△86,002
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42,391	△25,568
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65,231	138,912
現金及び現金同等物の期首残高	1,040,936	980,442
現金及び現金同等物の四半期末残高	975,705	1,119,355

(4)継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5)セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西 カンパニー	オーバーシーズ・ソリューション カンパニー	システム・ソリューション カンパニー	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,970,736	9,787,207	3,640,648	1,013,963	17,412,556
セグメント間の内部 売上高又は振替高	560,943	202,746	235,696	29,435	1,028,822
計	3,531,680	9,989,954	3,876,344	1,043,399	18,441,378
セグメント利益	149,971	450,011	46,496	42,043	688,523

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	688,523
セグメント間取引消去	19,345
全社費用(注)	△348,353
四半期連結損益計算書の営業利益	359,515

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				
	デバイス・ソリューション 関東・甲信越 カンパニー	デバイス・ソリューション 中部・関西 カンパニー	オーバーシーズ・ソリューション カンパニー	システム・ソリューション カンパニー	計
売上高					
外部顧客への売上高	2,957,725	10,875,411	5,037,874	994,020	19,865,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	774,774	73,450	85,540	66,113	999,878
計	3,732,499	10,948,861	5,123,415	1,060,134	20,864,910
セグメント利益	166,554	462,778	92,702	48,530	770,565

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	770,565
セグメント間取引消去	△299
全社費用(注)	△363,652
四半期連結損益計算書の営業利益	406,613

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は軽微であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

以上

平成25年3月期 第2四半期決算 補足資料

平成24年10月30日
東海エレクトロニクス株式会社

1. 主要な経営指標等の推移

(連結)		(単位:百万円)							
		23年9月第2四半期		24年3月期		24年9月第2四半期		25年3月期	
		(実績)	(前期比増減) %	(実績)	(前期比増減) %	(実績)	(前期比増減) %	(予想)	(前期比増減) %
売上高	(百万円)	17,412	△ 1.0	37,239	2.1	19,865	14.1	38,300	2.8
営業利益	(百万円)	359	△ 18.4	761	△ 13.1	406	13.1	775	1.8
経常利益	(百万円)	339	△ 23.5	764	△ 14.6	402	18.6	780	2.0
税引前当期純利益	(百万円)	348	△ 28.1	770	△ 13.4	△ 97	—	280	△ 63.6
当期純利益	(百万円)	179	△ 33.9	430	△ 7.1	△ 81	—	135	△ 68.6
純資産額	(百万円)	9,575	1.2	9,857	2.6	9,583	0.1	9,700	△ 1.6
総資産額	(百万円)	17,500	△ 2.3	17,694	△ 1.2	18,133	3.6	17,400	△ 1.7
1株当たり純資産額	(円)	890.28	1.0	916.58	2.3	890.22	△ 0.0	904.31	△ 1.3
1株当たり当期純利益	(円)	16.72	△ 34.0	40.15	△ 7.3	△ 7.64	—	12.59	△ 68.6
自己資本比率	(%)	54.6	—	55.6	—	52.7	—	55.8	—
営業活動による キャッシュフロー	(百万円)	19	—	139	—	317	—	216	—
投資活動による キャッシュフロー	(百万円)	43	—	△ 27	—	△ 67	—	△ 165	—
財務活動による キャッシュフロー	(百万円)	△ 85	—	△ 171	—	△ 86	—	△ 170	—
現金及び現金同等物 の期末残高	(百万円)	975	△ 37.9	980	△ 5.8	1,119	14.7	1,000	2.0
従業員数	(人)	302	2.0	306	1.0	317	5.0	318	3.9

2. 売上高内訳表

(連結)		(単位:百万円)							
		23年9月第2四半期		24年3月期		24年9月第2四半期		25年3月期	
		(実績)	(前期比増減) %	(実績)	(前期比増減) %	(実績)	(前期比増減) %	(予想)	(前期比増減) %
M(高機能材料)デバイス		2,144	11.6	3,921	△ 0.6	1,675	△ 21.9	3,000	△ 23.5
E(電子)デバイス		5,487	△ 2.6	10,621	△ 10.6	4,905	△ 10.6	9,500	△ 10.6
S(半導体)デバイス		5,125	7.0	12,319	18.1	7,252	41.5	14,000	13.6
海 外		3,640	△ 12.0	8,204	1.8	5,037	38.4	9,800	19.5
システム		1,013	△ 8.7	2,172	0.3	994	△ 2.0	2,000	△ 8.0
合計		17,412	△ 1.0	37,239	2.1	19,865	14.1	38,300	2.8

3. 設備投資、減価償却の状況

(連結)		(単位:百万円)			
		23年9月第2四半期	24年3月期	24年9月第2四半期	24年3月期
設備投資		47	135	131	150
減価償却費		66	145	71	150

以 上